

セルタンとリトラル

ブラジルの10年

知っているようで
知らない
ブラジルの素顔!

三砂ちづる

4月
下旬刊

南緯3度の世界、ブラジル北東部
ノルデステ（セルタンとリトラル）で――

土着の美、いのちの誕生と死の受容、独特
の宗教観、病との向き合い方など公衆衛
生学者の眼がとらえた〈重層的な文化〉の
ゆるがぬ深さと潔さを軽快に描く!!

- ▶ 独特の自然観を示す〈キントウラ〉とは何か。
- ▶ 文字以前の共同体を守ろうとした
〈カヌードスの乱〉の精神は
今も生きているのではないか。

定価2000円 + 税 四六判・296P
ISBN 978-4-86329-249-9 C0095

目次

序章 はじまり

I 「いのち」のとらえ方

第1章 レンデイラ

第2章 女のための薬

第3章 アペリド

第4章 預金凍結

第5章 「プリコラージュ」なイベント

第6章 バンコ・ド・レイチェ(母乳バンク)

II 「日常」の愉しみと畏怖

第7章 湯沸かし器と片手鍋

第8章 シチオとファリーニャ

第9章 エンプレガーダ・ドメスティカ、
あるいは家事労働をしてくれる人

III 魂と「死」の受容

第10章 ガラナ

第11章 「キントウラ」を拾う

第12章 ビリンバウ

第13章 翼の濡れた天使

終章 カヌードスは何と闘っていたのか

〈著者の横顔〉

三砂ちづる(みさご・ちづる)

1958年山口県生まれ。兵庫県西宮市で育つ。京都薬科大学、神戸大学経済学部第二課程、琉球大学大学院を経て、ロンドン大学 Ph.D.(疫学)。津田塾大学多文化・国際協力学科教授。専門は疫学、母子保健。著書に、「オニババ化する女たち」(光文社)、「月の小屋」(毎日新聞社)、「女が女になること」(藤原書店)、「女に産土はいらない」(春秋社)等、共著に渡辺京二氏との「女子学生、渡辺京二に会いに行く」(亜紀書房)、吉本ばなな氏との「女子の遺伝子」(亜紀書房)等。訳書にパウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」(亜紀書房)等。編著に『赤ちゃんにおむつはいらない』(勁草書房)、『科学的根拠から考える助産の本質』(南山堂)等。

【FAX: 092-726-9886】

書店・帖合 流通センター 取扱品 弦書房 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886	冊 セルタンとリトラル ブラジルの10年 三砂ちづる 著 定価 2000円+税 ISBN978-4-86329-249-9
	冊 米旅・麵旅のベトナム 木村聡 著 ISBN978-4-86329-193-5 定価 1800円+税
	冊 イタリアの街角から スローシティを歩く 陣内秀信 著 【3刷】 ISBN978-4-86329-039-6 定価 2100円+税
	冊 江戸という幻景 渡辺京二 著 ISBN978-4-902116-21-2 定価 2400円+税

ご担当者様 様 [/] 日